速度と加速度(1)

背景:

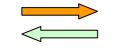
運動学:物体(粒子)の力学的運動を考える学問、力は明示的には考えない。

微積分:17世紀、ニュートン(英)とライプニッツ(独)により独立に発明された数学的方法。

物体(粒子)の空間的時間的変化を定量的に記述できる。

要点: 時間についての微分 時間についての微分

位置





時間についての積分

時間についての積分

背後の思想

運動してることが一般的、 特殊な運動としての「静止」

広がりをもつ現実の物体(の運動) 抽象化:(点)粒子、質点

時間の一様等質無限性

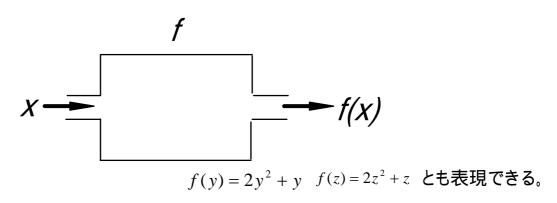
空間の一様等質無限性

関数とは何だろうか

ある量(変数)を入力したときに、与えられたやり方・規則で別の量を対応させる機能をもつ関係を関数という。

例1: $f(x) = 2x^2 + x$ Xという変数(量)に対して、

 $2x^2 + x$ という値(量)を対応させること、またはその機能を意味する。



さらに次のように表現することもできるだろう。

$$f() = 2()^2 + ()$$

すなわち、関数とは()に何らかの量が"入力"されると

f() という値を"出力"する(作る・計算する)という機能を表わすのである。

f()

例2:
$$f(x) = ax^2 + bx, (a,b: -定)$$

この例のように関数形として、明示的には与えられていないが、変数には関係のない定数 (a,b) が含まれる場合もある。もちろん、この場合にも例1と同様に

$$f(y) = ay^2 + by$$

とも表すことができる。さらに、次のように表してもよい。

$$f(z) = az^2 + bz$$

さらに次のように表現することもできるだろう。

$$f(\quad) = a(\quad)^2 + b(\quad)$$

関数の本質はその機能(function)にある!

変数 xの関数 f(x)をxで微分すること

$$\frac{df(x)}{dx} \equiv \lim_{\Delta x \to 0} \frac{f(x + \Delta x) - f(x)}{\Delta x}$$

$$f(x) \equiv x \rightarrow \frac{df}{dx} = \frac{dx}{dx} = 1$$

$$f(x) \equiv 3x^2 + 5x + 8 \rightarrow \frac{df}{dx} = \frac{d(3x^2 + 5x + 8)}{dx} = 6x + 5$$

$$f(x) \equiv \sin x \rightarrow \frac{df}{dx} = \frac{d(\sin x)}{dx} = \cos x,$$

$$f(x) \equiv \cos x \rightarrow \frac{df}{dx} = \frac{d(\cos x)}{dx} = -\sin x,$$

合成関数の微分

実例

$$f(x) = \sin(2x) \to \frac{df}{dx} = \frac{d[\sin(2x)]}{dx} = \frac{d[\sin(u)]}{du} \frac{du}{dx} = 2\cos(2x),$$

$$f(x) = \cos(2x) \to \frac{df}{dx} = \frac{d[\cos(2x)]}{dx} = \frac{d[\cos(u)]}{du} \frac{du}{dx} = -2\sin(2x),$$

$$f(x) = \sin(\omega x) \to \frac{df}{dx} = \frac{d[\sin(\omega x)]}{dx} = \frac{d[\sin(u)]}{du} \frac{du}{dx} = \omega\cos(\omega x),$$

$$f(x) = \cos(\omega x) \to \frac{df}{dx} = \frac{d[\cos(\omega x)]}{dx} = \frac{d[\cos(u)]}{du} \frac{du}{dx} = -\omega\sin(\omega x),$$

変数 tの関数 f(t)をtで微分すること

$$\frac{df(t)}{dt} \equiv \lim_{\Delta t \to 0} \frac{f(t + \Delta t) - f(t)}{\Delta t}$$

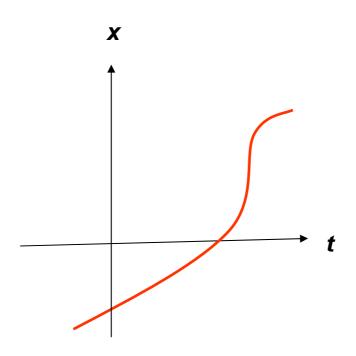
$$f(t) \equiv t \rightarrow \frac{df}{dt} = \frac{dt}{dt} = 1$$

$$f(t) \equiv 3t^2 + 5t + 8 \rightarrow \frac{df}{dt} = \frac{d(3t^2 + 5t + 8)}{dt} = 6t + 5$$

$$f(t) \equiv \sin t \rightarrow \frac{df}{dt} = \frac{d(\sin t)}{dt} = \cos t,$$

$$f(t) \equiv \cos t \rightarrow \frac{df}{dt} = \frac{d(\cos t)}{dt} = -\sin t,$$

時間tの関数としての物体(粒子)の位置X(t)



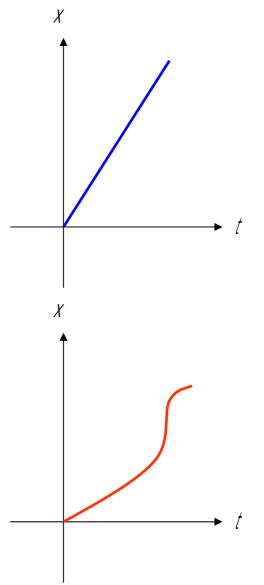
位置水の時間微分としての速度火水

平均速度

時間変化
$$\Delta t$$
 Δt
位置変化 Δx
 Δt

時刻だにおける(瞬間)速度

$$v_{x} \equiv \lim_{\Delta t \to 0} \frac{x(t + \Delta t) - x(t)}{\Delta t}$$
$$\equiv \frac{dx(t)}{dt} \equiv \dot{x}$$



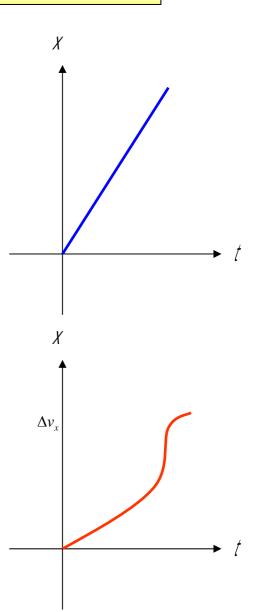
速度V_xの時間微分としての加速度a_x

平均加速度

時間変化
$$\Delta t$$
 速度変化 Δv_x $\overline{a}_x \equiv \frac{\Delta v_x}{\Delta t}$

時刻 / における(瞬間)加速度

$$a_{x} \equiv \lim_{\Delta t \to 0} \frac{v_{x}(t + \Delta t) - v_{x}(t)}{\Delta t} = \frac{dv_{x}}{dt} \equiv \dot{v}_{x}$$
$$\equiv \frac{d^{2}x(t)}{dt^{2}} \equiv \ddot{x}$$



速度から位置(変化)へ

$$\int_{t_0}^{t} v_x(t')dt' = \int_{t_0}^{t} \frac{dx(t')}{dt'}dt'$$

$$= x(t) - x(t_0)$$

速度の時間についての積分 位置変化

加速度から速度(変化)へ

$$\int_{t_0}^{t} a_x(t')dt' = \int_{t_0}^{t} \frac{dv_x(t')}{dt'}dt'$$

$$= v_x(t) - v_x(t_0)$$

加速度の時間についての積分を速度変化